

2018年度（平成30年度）

事業報告書

自 2018年4月1日

至 2019年3月31日

公益社団法人日本ボート協会

2018年度（平成30年）事業報告

I 事業方針

2018年度においては、本会の二大方針である「国際競技力の向上」、「ボート人口増大」を引き続き着実に実現する為、定款に定める以下の各事業を実施した。また、次年度に控える2020東京オリンピック・パラリンピック大会の出場権獲得並びに2019世界ジュニア選手権大会日本開催に向けた活動を重点的に実施した。

「日本の地域社会でボート競技の普及を図る」においては、普及プロジェクトにおける検討に基づき、推進策を継続するとともに、全国ボート場所在市町村協議会との連携をさらに強め、2020東京オリンピック・パラリンピック大会事前キャンプ誘致及び物的・人的環境整備の働きかけを行った。

「ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上を図る」においては、2020東京オリンピック大会における日本ボート界悲願のメダル獲得に向け、ギザビエNSD (National Sports Director) 主導による強化方針を継続し、2019年世界選手権における2020東京オリンピック大会出場枠獲得を最大の課題として取り組んだ。加えて、2014年以降実施してきたタレント発掘育成事業を更に拡充し、ジュニアからシニアまで一貫した国際競技力向上のための計画を推進し、ボートに適したタレントを有する選手の発掘と育成に重点を置いた。また、JOCエリートアカデミー事業については、4名のアカデミ一生の参加となった。

「ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会を開催する」においては、今年度も昨年と同じく12大会を開催した。全日本社会人選手権（戸田）については水草の繁茂の影響により急遽会場を変更し、宮城県登米市の長沼ボート場で開催した。

「日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会へ派遣する」においては、今年度も引き続き世界レベルとのギャップを解消すべく、海外合宿並びに国際競漕機会の増加を図り、シニア・U23はワールドカップ戦、世界選手権、アジア競技大会等へ、また、ジュニアは世界ジュニア選手権、アジアジュニア選手権に派遣した。

「ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定」においては、ボートコースの新規・更新認定業務を都道府県協会、コース管理自治体等と協力して9コースについて更新認定業務を行った。また、100周年記念事業の一環として国際競技力向上のため、FISAルールをベースとした本会競漕規則および関連諸規則・諸規定の改定作業に取り組み、現在継続中である。

また今年度は、7月1日付で特定非営利法人日本パラローイング協会と統合し、普及や強化等の活動を積極的に行った。そして本会が主管として開催する「2019世界ジュニア選手権大会」に向け、7月26日に組織委員会の設立総会を実施し大会準備に本格的に取り組んだ。また、2020年に迎える本会100周年事業として、記念式典の準備、100周年記念誌の編纂、「海の森水上競技場完成記念レガッタ」の開催に向けた準備作業を行った。

加えて、2020年に向けた協会財政基盤強化を重点的に行うとともに、公益法人としての環境整備並びに更なるガバナンス強化を推進した。

1. 競技本部関係事業

(1) 競漕大会開催並びに競技者に関する事業

①競漕大会開催について

- ・今年度は主催大会として、以下の大会を開催した。

開催期日	大会名	開催地・コース
4月13日（金）～15日（日）	JOCジュニアオリンピックカップ 第16回全日本ジュニア選手権大会	熊本県菊池市 斑蛇口湖ボート場
5月17日（木）～20日（日）	第40回全日本軽量級選手権大会 2018 JAPAN CUP INTERNATIONAL REGATTA	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
5月26日（土）～27日（日）	第11回全日本マスターズレガッタ	熊本県菊池市 斑蛇口湖ボート場
7月 7日（土）～ 8日（日）	第68回全日本社会人選手権大会	宮城県登米市 長沼ボート場
7月15日（日）～16日（月）	第38回全日本中学校選手権競漕大会	岐阜県海津市 長良川ボートコース
7月30日（月）～8月 2日（木）	第66回全日本高等学校選手権競漕大会	愛知県東郷町 愛知池ボートコース
9月 6日（木）～ 9日（日）	第45回全日本大学選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
9月 8日（土）～ 9日（日）	第58回オックスフォード盾レガッタ	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
9月30日（土）～10月3日（水）	第73回国民体育大会ボート競技会	福井県美浜町 久々子湖漕艇場
10月25日（木）～28日（日）	第96回全日本選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
11月9日（金）～11日（日）	第59回全日本新人選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
2019年 3月22日（金）～24日（日）	第30回全国高等学校選抜大会	静岡県浜松市 天竜ボート場

※社会人、実業団の参加数増大を図るため「全日本社会人選手権大会」において、新たに「1000mレース」のカテゴリーを設けたが、会場変更の影響もあり男子シングルスカル3クルー、男子舵手付きフォア2クルー計5クルーに留まった。

②全国マシンローリング大会開催

- ・全国9ブロックのA大会及び28カ所のB大会を開催し、計4,335名の参加があった。
- ・2018年度大会の成績優秀者について、アジアインドア選手権大会に派遣した。

③競技団体及び競技者について

- ・競技者規定に基づき、2018年度の競技団体及び競技者の資格決定を行い、9,287名の登録を行った。

- ・前年比較では、団体数は7団体減の527、競技者数は83名増となった。

(2) コース認定に関する事業

- ・今年度は以下の更新認定を実施した。

都道府県	コース名	級	距離	認定日
宮城県	長沼ボート場	A	2,000m	4月14日
山形県	京田川ボート場	C	1,000m	6月9日

北海道	茨戸漕艇場	C	1,000m	7月14日
北海道	網走湖ポートコース	C	1,000m	7月15日
新潟県	津川漕艇場	B	1,000m	7月15日
広島県	芦田川漕艇場	A	2,000m	9月22日
長崎県	形上湾ポートコース	B	1,000m	10月13日
福島県	荻野漕艇場	B	1,000m	2019年1月20日
埼玉県	戸田ポートコース	A	2,000m	2019年3月24日

(3) 2020東京オリンピック・パラリンピック競技会場（海の森水上競技場）整備に関する事業

- ・東京都オリンピック・パラリンピック準備局及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と連動し、2020東京オリンピック・パラリンピック大会並びにテストイベントである2019世界ジュニア選手権大会の開催に向け、コースと関連施設の整備にあたった。

(4) 審判に関する事業

①審判業務

- ・今年度本会主催並びに主管大会に審判長はじめ審判員を派遣し、大会審判業務を行った。

②審判員養成事業

- ・審判員養成を目的に次の研修会と認定試験を行った。

研修会名称	開催日	開催場所	参加者
公認審判員セミナー (B級審判員認定試験併催)	4/13 (金)	熊本県菊池市「斑蛇口湖ポート場」	5名
第87回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	5/17 (木) ～20 (日)	埼玉県戸田市「戸田ポートコース」	57名
第88回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	11/9 (金)	埼玉県戸田市「戸田ポートコース」	71名
NTO養成講習会	3/21 (木) ～24 (日)	埼玉県戸田市「戸田ポートコース」	18名

(5) ルール整備に関する事業

- ①国際競技力向上のためには、国内の競漕環境を国際仕様に近づける施策が必要であることから、本会100周年記念事業としてプロジェクトを編成し、競漕規則の改定に取り組んだ。
- ②毎年改訂されるFISAルールの最新邦訳を常に提供できよう、翻訳作業を行った。

2. 強化本部関係事業

(1) 選手強化に関する事業

今年度は以下の基本方針並び基本計画により、選手強化事業を実施した。

①2018シーズン基本方針

- ア) 国内でのトレーニング・技術の統一
- イ) 選考方法の革新とコーチ・選手の Spirits の変革
- ウ) オープンカテゴリーの強化
- エ) 世界選手権における目標設定
- オ) 関係諸団体との連携強化

カ) パラローイングとの連携

②2018シーズン基本計画

ア) ナショナルチーム内でのカテゴリーを超えた強化システムの構築

- ・2013年以降に導入された「継続強化」により、複数の選手がU19からU23へ、U23からシニアへと移行し、近年のシニアチームでの成績向上に貢献していることを受け、ジュニア期からシニア期までの一貫強化を継続した。

イ) トップアスリート・指導者等の多様な活躍の支援

- ・ナショナルチーム経験者を積極的に招聘するとともに、アスリート委員会との連携を取り、更に活躍の場を創出できるよう取り組んだ。

ウ) 障がい者スポーツとの連携強化

- ・7月のパラローイング協会と日本ボート協会の統合を踏まえ、障がい者スポーツに関するスポーツ医・科学的研究を推進するとともに、強化拠点の在り方についても検討した。

エ) 医科学委員会・アスリート委員会との連携

- ・ナショナルチーム活動の期間が長期化し、トレーニング強度が増大することによって発生する様々な問題に対し、医科学委員会・アスリート委員会との連携し、問題改善にあたった。

オ) ナショナルチーム強化合宿及び海外遠征

- ・国内強化合宿

時期	事業名	開催地	対象選手
4月	強化合宿	城崎・福井	シニア・U23
5月	強化合宿	戸田	シニア・U23
6月	強化合宿	久々子湖	U23
6月	強化合宿	田瀬湖	シニア・U23
7月	強化合宿	戸田	U23
8月	強化合宿	田瀬湖	シニア・U23
11月	強化合宿	戸田	シニア・U23
12月	強化合宿	戸田	シニア・U23
2019年1月	強化合宿	木島平	シニア・U23
2月	強化合宿	本明川	シニア・U23
3月	強化合宿	戸田	シニア・U23

・海外遠征

時期	事業名	開催地
4月	アジア競技大会事前合宿	フランス
7月	ワールドカップIII事前合宿	フランス
8月	世界選手権事前合宿	フランス
9月	フランス・ドイツ遠征	フランス・ドイツ

・国際大会派遣

選手を以下大会に派遣し成績は以下のとおりであった。

[FISA主催大会]

大会名	時期	成績
U23世界選手権 ポツナム・ポーランド	7月	BW2- 9位 BW x 14位 BLW4 x 5位 BLM1x16位 BLM4x8位
ワールドカップIII ルツエルン・スイス	7月	W1x15位 LW4x6位 M1x20位 M2x14位 LM1x17位 LM2x13位 M2-27位
ジュニア世界選手権 ラチェチェ・チェコ	8月	JW1x21位 JW4 x 17位 JW2 x 8位 JM1x22位 JM2x24位
世界選手権 ブルガリア・プロブディブ	9月	LW1 x 17位 LW2 x 10位 LM1 x 16位 LM2 x 12位
2018ユースオリンピック ブエノスアイレス・アルゼンチン	10月	JM1x9位

[ARF主催大会]

大会名	時期	成績
ジュニアアジア選手権	6月	JM2x2位 JM4-1位 JW1 x 2位 JW2 x 3位 JW4-3位
アジア競技大会	8月	M1x3位 M2-3位 M2x6位 LM2 x 1位 W1x4位 W2x4位 W2-4位 Lw2x4位

(2) タレント発掘及び競技者育成に関する事業

今年度も、JSCくじ助成事業として、以下の事業を実施した。

① トライアウトの実施

- ・今年度は全国各地 12ヶ所での第一次トライアウトを 17回、及び第二次トライアウトを 5回実施した。

② 長期ビジョンによるタレント発掘選手の育成

- ・これまで U19 カテゴリーにおける育成環境に限られてきたが、育成環境を U23 カテゴリーまで伸ばすことで長期的ビジョンに立ったタレント育成を行った。

③ U21・U23育成環境の整備

- ・U21・U23という段階的な強化・育成を2019年度以降も継続するためにコーチ・スタッフの配置、及び育成環境の整備に取り組んだ。

④ エリートアカデミー事業への参画

- ・アカデミー生については今年度より 2名が選任され計 4名の布陣となった。また新たに専任スタッフ 1名を追加し、計 2名体制とした。

また次年度アカデミー生 1名を推薦し、内定となり次年度は計 5名体制となる予定。

⑤ 国内育成合宿の実施

- ・今年度は、メダルポテンシャルアスリート（U23・U21）、タレント育成選手・エリートアカデミー（EA）・有望選手発掘育成国内育成合宿を計62回実施した。
- また今年度は、国内大会には6大会に参加した。

⑥ 海外遠征

時期	大会名・合宿名	開催地	対象選手
4月～5月	フランスキャンプ	フランス・エギュベレット	EA(U17)
4月～5月	ドイツ国際ジュニアレガッタ	ドイツ・ミュンヘン	タレントA・EA
6月	アジアジュニア	韓国・忠州	MPA・育成選手
6月～7月	フランスキャンプ	フランス・エギュベレット	MPA・育成選手
6月～7月	Soro International Regatta	デンマーク・ソーレ	タレントA・EA
7月～8月	ドイツ・チェコ遠征	ドイツ・ミュンヘン他	MPA・育成選手
6月～7月	オランダキャンプ	オランダ	タレントA・EA
10月	香港レガッタ	香港・沙田	タレントA・EA
2019年2月	メルボルン遠征	オーストラリア・メルボルン	タレントA・EA
2019年3月	Sydney International Regatta	オーストラリア・シドニー	タレントA・EA

（3）医科学に関する事業

①メディカルサポートに関する事業

- ・戸田ボートコースにおける全日本軽量級選手権・全日本社会人選手権・全日本大学選手権・全日本選手権大会に医師師並びに看護師を派遣し、救急医事業務を行った。
- ・世界選手権大会に医師を派遣、その他の国内強化合宿、海外強化合宿及び海外大会へトレーナーが帯同し、選手のコンディショニング維持、改善及び指導を行った。

② ドーピングに関する事業

- ・本会におけるアンチ・ドーピング活動を更に強化する為、4月1日付けで新たに「アンチ・ドーピング委員会」を設置した。
- ・日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の委託事業として、全日本軽量級選手権・全日本大学選手権・全日本選手権大会においてドーピング検査を行った。
- ・JADAと連携し、競技団体及び選手を対象としたアンチ・ドーピングに関し、朝日レガッタ（アウトリーチ）、全日本大学選手権（講習会）、全日本新人選手権（アウトリーチ）をそれぞれ行った。

（4）指導者育成に関する事業

①公認スポーツ指導者養成事業

- ・（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成事業による講習会について、今年度は以下の日程で講習会を開催した。

講習会名	開催時期	開催場所
公認コーチ養成講習会	前期：11月 後期：2019年 1月	大阪府・高石市

公認指導者養成講習会	前期：6月 後期：12月	新潟県・阿賀町 新潟県・新潟市
資格更新義務研修	5月 11月～12月	朝日レガッタ会場 ・高体連3地区 (東地区・中地区・西地区) ・都道府県体協主催研修 ・都道府県ボート協会主催研修

(5) アスリートに関する事業

①トップアスリートの意見を集約し協会諸事業に反映する事業

- 各委員会より適宜諮問される諸事項についてアスリートの意見を集約し、アスリートファースト並びにアスリートの環境改善につながる提言を行った。
- エクスコムグローバル株式会社とのパートナーシップ契約締結に基づくトップアスリートへの支援を行った。

②本会主催諸事業に協力しボート競技の普及と発展に貢献する事業

- ボート競技並びにアスリートの地位向上のため、2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた広報活動（「あと2年」PR活動への参加、JFAこころのプロジェクトへ「夢先生」を派遣、コニカミノルタ撮影協力、対談形式の記事を作成し、ホームページに掲載等）や講演活動（地域ローカルクラブや中学校への1日講師等）に参加した。

③女性アスリートの競技環境改善のための事業

- 女性アスリートの競技環境改善の為、女性アスリートの意見を集約し、競技環境改善につなげるサポート（全日本大学選手権女子種目追加に関する報告等）を行った。

④トップアスリートのセカンドライフの支援のための事業

- トップアスリートが引退後も継続的にボート競技や協会の活動に携われるようサポートを行った。

3. 普及本部関係事業

(1) 普及に関する事業

①全国ボート場所在市町村協議会との連携

- 同協議会の各会議並びに行事に参加し、「全国ボート場所在市町村協議会」加盟の各水域をはじめ、全国主要水域のボート普及環境の整備を目的に連携を図った。
- 2020東京オリンピック・パラリンピック大会の事前キャンプ誘致について連携して活動し、現在パラローイングを含め8カ所の事前キャンプの計画が進行している。

②「お台場レガッタ2018」の開催

- 日本スポーツ振興センター助成事業として一般愛好者、初心者の参加を募り、参加者、観客が共に楽しめ、ボート競技の魅力を体感できることを目的に「お台場レガッタ2018」を6月24日（日）、お台場海浜公園で開催した。

③関連団体の活動支援

- 中学生及び高校生のボート競技振興を図るために、全国中学校ボート連盟及び全国高等学校体育連盟ボート専門部の活動に対し、助成金交付と支援を行った。

④オリンピアンの会活動

- ・ボート競技普及を目的として、オリンピアンによるボート教室を5月20日に埼玉県戸田市、2月2～3日に秋田県由利本荘市で実施した。
- ・オリンピアンによる講演会を4月12日に熊本県菊池市、7月29日に愛知県東郷町、3月21日に静岡県浜松市の合計3回実施した。

(2) 広報に関する事業

- ①協会広報誌「ROWING」の発行
 - ・今年度は、本会機関紙「ROWING」を6回発行した。
- ②本会ホームページ
 - ・ホームページの速報化と強化関連を中心に掲載情報量のアップを図るとともに、新たに「2019世界ジュニア選手権大会」のウェブサイトを立ち上げた。
- ③報道機関、マスコミへの対応・協力
 - ・東京運動記者クラブをはじめ報道機関、出版業界との関係を密にし、タイムリーなニュースリリース（メール配信）に努めた。
 - ・2019世界ジュニア選手権大会の第1回記者発表会を3月19日に、FISAマット・スミス事務総長の出席のもと実施した。
- ④選手関係者・保護者・OB会への対応・協力
 - ・現在、情報発信用メーリングリストに約500人登録しているが、今年度もレース結果などタイムリーなリリースを実施した。また広報活動を通じ登録者増加にも取り組んだ。
- ⑤写真コンテスト「ボートのある風景」の実施
 - ・ボートならびに漕艇場水域の広報活動として、今年度も日本スポーツプレス協会会長の水谷章人氏を審査委員長として第2回コンテストを実施した。

(3) 安全環境に関する事業

- ・本会認定セーフティアドバイザー研修事業

本会認定セーフティアドバイザー研修については、今年度は以下の日程で研修会を開催した。なお、本研修は各水域や団体における安全責任者も受講の対象とした。

事業名	開催日	開催場所
研修会	1月20日（日）	埼玉県・戸田市
研修会	1月27日（日）	北海道・札幌市

4. パラローイング本部関係事業

2018年7月1日付け、本会に統合し以下の活動を行った。（年間活動記載）

(1) 海外遠征

- ・以下の国際大会にチームを派遣した。

事業名	時期	大会名	派遣先
チーム派遣	5月	2018 PARA ROWING INTERNATIONAL REGATTA	イタリア・ガバイラーテ
チーム派遣	9月	2018 世界選手権	ブルガリア・プロヴディフ

(2) 国内合宿

- 以下の選手強化合宿を実施した。

事業名	時期	開催場所
第1回国内合宿	4月	神奈川県・相模湖
第2回国内合宿	5月	神奈川県・相模湖
第3回国内合宿	7月	神奈川県・相模湖
第4回国内合宿	8月	神奈川県・相模湖
第5回国内合宿	10月	神奈川県・相模湖
第6回国内合宿	2019年1月	神奈川県・相模湖
第7回国内合宿	2月	神奈川県・相模湖
第8回国内合宿	3月	神奈川県・相模湖
第9回国内合宿	3月	神奈川県・相模湖
第10回国内合宿	3月	神奈川県・相模湖

(3) 次年度に向けた活動

- 本会との統合により、各都道府県ボート協会に対し、選手発掘並びに協会に関する協力を要請した。
- 2020東京パラリンピック大会に向け、対選手強化と体制強化の為、日本パラリンピック委員会並びに日本財団に対し助成申請等協力要請を積極的に行った。

5. 管理本部関係事業

(1) 国際関係事業

①国際審判派遣

- 今年度は以下の国際大会に審判員を派遣した。

[FISA主催大会]

大会名	開催期日	会場地・開催国	審判員
ワールドカップI戦	6/ 1 (金) ~3 (日)	セルビア・Belgrade	中島大祐 (東京) 山崎佳奈子 (東京)
世界ジュニア選手権	8/ 8 (水) ~12 (日)	チェコ・Racice	塙田秀樹 (京都)
世界大学選手権	8/10 (金) ~12 (日)	中国・Shanghai	市川 愛 (滋賀)
世界マスターズレガッタ	9/26 (水) ~30 (日)	アメリカ・Sarasota	松田雅彦 (神奈川) 田畠喜彦 (愛知)
ユースオリンピック	10/ 7 (日) ~11 (木)	アルゼンチン・BuenosAires	田畠喜彦 (愛知)
世界コースタル選手権	10/11 (水) ~14 (日)	カナダ・Sydney	隈元幸治 (神奈川)

[ARF主催大会]

大会名	開催期日	会場地・開催国	審判員
アジアカップI戦	4/26 (木) ~29 (日)	シンガポール	塙田秀樹 (京都)
アジアジュニア& アジアカップII	6/26 (火) ~30 (土)	韓国・忠州	栗山俊久 (東京)

アジアコースタル	11/23（金）～25（日）	中国・香港	千田隆夫（岐阜） 山崎佳奈子（東京）
----------	----------------	-------	-----------------------

②FISA国際審判試験・セミナーの主管

主催：FISA審判委員会

日時：10月19日（金）15：00～20：00 審判試験（筆記）

10月20日（土）9：00～13：00 審判試験（口頭・実技・シミュレーション）

15：00～19：00 審判セミナー（第1部）

10月21日（日）9：00～13：00 審判セミナー（第2部）

場所：渋谷FORUM8（渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル）

試験官・講師

パトリック・ロンバウト氏（FISA審判委員長：ベルギー）

ファビオ・ボルチック氏（FISA審判委員：イタリア）

千田隆夫氏（FISA審判委員、日本）

受験者：8名（日本5名、オーストラリア1名、韓国1名、スリランカ1名）

合格者：5名

合格者氏名：藤田幸浩、川崎健治、成田泰久（日本）（日本人FISA審判総数は21名となった）

キャサリン・ガーリントン（オーストラリア）

デュファン・シン（韓国）

セミナー受講者：40名（FISA審判18名、受験生8名、元FISA審判4名、JARA審判9名、

JARA事務局1名）

③日韓交流事業

- ・今年度は、5月に全日本軽量級選手権と併催されたJAPAN-CUPに韓国選手団（4選手・スタッフ2名）を招待した

④FISA及びARF総会への代表者派遣

- ・各連盟の事業方針、各国動向等最新情報を把握するため下記総会へ代表者を派遣。

会議名	開催日	開催国・会場地	出席者
アジアボート連盟 (ARF) 総会	8月23日 (木)	インドネシアPalembang	千田委員長 長畠委員長
国際ボート連盟 (FISA) 通常総会	9月17日 (月)	ブルガリア・プロブディブ	大久保会長 日浦委員長

（2）特定非営利活動法人日本パラローイング協会との統合

- ・7月1日付で、国内におけるパラローイングの振興・普及および強化の為、本会と特定非営利活動法人日本パラローイング協会を統合した。

（3）財政基盤強化に関する事業

①助成金について

- ・今年度は日本オリンピック委員会（JOC）、日本スポーツ振興センター（JSC）、戸田競艇企業団、埼玉都市競艇組合、ミズノスポーツ振興財団、スポーツ安全協会より、各対象事業に対し助成を受けた。

②強化募金について

- ・今年度も継続して活動を行い、多くの企業および個人から強化募金が寄せられた。

③2019世界ジュニア選手権大会開催資金確保

- ・JSC、東京都及びミズノスポーツ振興財団に、国際大会開催助成に関し助成申請を行った。
- ・また大会ローカルスポンサーについては、本会独自の活動と共に㈱電通スポーツ局に委託し活動を行い、7社ほどの獲得の見込みである。

④収益事業の見直しについて

- ・既存収益事業の見直しとともに、公益法人としての事業継続・発展となる新たな収益確保について引き続き調査・検討を行った。

(4) 2020年に向けた事業

- ①2020東京オリンピック・パラリンピック大会のテストイベントとして本会が主管として開催される「2019年世界ジュニア選手権大会」について、18の専門部会からなる実行委員会により、その準備にあたった。(継続)
- ②2020東京オリンピック・パラリンピック大会の開催に向け、2020組織委員会、東京都及びFISAと連携してその準備を行った。(継続)
- ③本会創立100周年記念事業について、記念式典、新ビジョン策定、競漕規則改定、記念誌の編纂、「海の森水上競技場完成記念レガッタ」等その準備に取り組んだ。(継続)

(5) ガバナンス強化に関する事業

①公益法人に関する業務の推進

- ・公益法人のもとで協会運営を行うために、必要な各種規定類のさらなる整備をすると共に、その他の関連業務を継続して実施した。

②コンプライアンス及びインテグリティの徹底

- ・昨年に引き続き、コンプライアンス及びインテグリティ教育について、各研修会並びに講習会において啓蒙活動を継続した。
- ・今年度新たに発足した「協会弁護士による研修会」制度を所属団体等に働きかけ、埼玉県戸田市と宮城県登米市で開催した。

③情報システムの運営並びに管理態勢の整備に向けた課題の洗い出しを実施

- ・情報管理並びに情報システムの開発・保守態勢の見直しに着手した。
- ・情報システム管理規定を起案した。
- ・協会ホームページ更新の方向性を検討した。

6. 大会記録

※添付別紙資料参照

以上

2018年国際大会記録

ワールドカップ第3戦<Switzerland・Lucerne>							6月13日～6月15日		
種目	優勝	第2位	第3位	日本選手					
LM1x	スイス1 6分55秒88	オーストラリア 6分58秒97	ドイツ2 6分59秒24	吉原	7分31秒80	17位			
M1x	ニュージーランド1 6分55秒30	ドイツ2 6分59秒45	チェコ 7分00秒72	荒川	7分09秒09	20位			
LM2x	アイルランド 6分28秒50	ベルギー 6分29秒30	デンマーク 6分32秒39	佐藤・西村	6分29秒08	13位			
M2x	ポーランド 6分18秒86	ドイツ 6分19秒80	スイス 6分30秒15	栗原・山尾	6分44秒45	14位			
M2-	ニュージーランド1 6分32秒93	フランス1 6分33秒58	チェコ 6分33秒64	大塚・高野	6分55秒19	27位			
LM4x	ドイツ 5分55秒30	デンマーク 5分55秒92	オランダ 5分58秒38	池田・鎌田・浜田・福井	6分07秒20	7位			
W1x	スイス 7分35秒94	アイルランド 7分36秒17	カナダ 7分37秒03	榎原	7分51秒31	15位			
LW4x	中国 6分28秒04	デンマーク 6分31秒07	ドイツ 6分32秒37	上田・大石・山領・土屋	6分45秒03	6位			

U23世界選手権<Poland・Poznan>							7月25日～7月29日		
種目	優勝	第2位	第3位	日本選手					
BLM1x	ブラジル 6分51秒27	フランス 6分54秒10	オーストラリア 6分56秒43	伊藤	7分35秒09	16位			
BM2x	ギリシャ 6分13秒13	オランダ 6分14秒18	ポーランド 6分14秒53	木村・櫻間	6分25秒88	11位			
BLM4x	イタリア 6分10秒13	アイルランド 6分11秒45	アメリカ 6分12秒55	新井・一瀬・武田・宮浦	6分15秒34	8位			
BW2x	イギリス 8分47秒03	ドイツ 6分48秒34	イタリア 6分49秒17	中条・米川	7分37秒94	14位			
BW2-	アメリカ 7分31秒24	イギリス 7分33秒68	チリ 7分34秒14	高野・西原	8分02秒89	15位			
BLW4x	イタリア 6分54秒85	オランダ 6分59秒99	フランス 7分03秒32	石垣・高島・瀧本・成瀬	7分06秒42	5位			

アジア選手権<Jakarta・Palembang>							8月19日～8月24日		
種目	優勝	第2位	第3位	日本選手					
M1x	中国 7分25秒36	韓国 7分30秒86	日本 7分35秒29	荒川	7分35秒29	3位			
M2x	ウズベキスタン 6分48秒19	中国 6分48秒65	日本 7分01秒26	栗原・山尾	7分01秒26	6位			
M2-	中国 7分04秒07	ウズベキスタン 7分06秒11	日本 7分10秒53	大塚・高野	7分10秒53	3位			
LM2x	日本 7分01秒70	韓国 7分03秒22	インド 7分04秒61	武田・宮浦	7分01秒70	1位			
W1x	中国 8分08秒21	台湾 8分16秒14	カザフスタン 8分19秒32	榎原	8分25秒74	4位			
W2x	中国 7分33秒55	韓国 7分34秒73	イラン 7分35秒45	中条・米川	7分51秒05	4位			
W2-	中国 7分55秒50	韓国 8分00秒25	インドネシア 8分03秒95	高野・西原	8分07秒93	4位			
LW2x	中国 7分40秒24	イラン 7分48秒38	タイ 7分54秒23	高島・瀧本	7分57秒15	4位			

アジアジュニア選手権・アジアカップⅡ<Korea・Chungju>							6月26日～6月30日		
種目	優勝	第2位	第3位	日本選手					
JM1x	イラン 7分16秒34	香港 7分19秒93	中国 7分22秒51	青木	7分31秒25	6位			
JM2x	イラン 6分44秒64	日本 6分44秒84	香港 6分52秒07	島田・森長	6分44秒84	2位			
JM4x	日本 6分19秒69	インド 6分22秒35	ウズベキスタン 6分27秒01	阿部(光)・阿部(亮)・大野・岡本	6分19秒69	1位			
JW1x	中国 8分21秒04	日本 8分25秒48	イラン 8分34秒14	仲澤	8分25秒48	2位			
JW2x	中国 7分37秒17	イラン 7分42秒93	日本 7分46秒32	新田・林原	7分46秒32	3位			
JW4x	中国 6分45秒19	イラン 6分48秒93	日本 6分50秒49	磯・川村・鈴木・中尾	6分50秒49	3位			
W2x	カザフスタン 7分25秒62	日本 7分27秒33	韓国C 7分30秒68	村松・米澤	7分27秒33	2位			

2018年国際大会記録

世界ジュニア選手権<Czech Republic・Racice>						8月8日～8月12日		
種目	優勝	第2位	第3位	日本選手				
JM1x	アメリカ 7分01秒37	オーストラリア 7分05秒00	ベルギー 7分07秒51	青木	7分15秒03	22位		
JM2x	ドイツ 分26秒39	ギリシャ 6分29秒57	チェコ 6分31秒67	島田・森長	6分44秒66	24位		
JW1x	ルーマニア 7分32秒34	アルゼンチン 7分33秒11	イタリア 7分41秒22	松田	8分02秒35	21位		
JW2x	中国 7分17秒41	ギリシャ 7分19秒40	ニュージーランド 7分20秒10	仲澤・米澤	7分27秒13	8位		
JW4x	スイス 6分25秒82	ドイツ 6分26秒65	オランダ 6分28秒62	磯・鈴木・中尾・村松	6分59秒47	17位		

世界選手権<Bulgaria・Plovdiv>						9月9日～9月16日		
種目	優勝	第2位	第3位	日本選手				
LM1x	ドイツ 6分56秒36	スイス 6分58秒34	アメリカ 7分00秒04	池田	7分12秒03	16位		
LM2x	アイルランド 6分06秒81	イタリア 6分08秒31	ベルギー 6分11秒25	佐藤・西村	6分31秒77	12位		
LW1x	フランス 7分51秒79	イタリア 7分51秒96	イギリス 7分52秒61	土屋	8分09秒45	17位		
LW2x	ルーマニア 6分50秒71	アメリカ 6分52秒30	オランダ 6分52秒56	大石・山領	7分07秒96	10位		

2018年度国内大会記録

第96回全日本選手権大会 <埼玉・戸田ポートコース>				2018年10月25日～10月28日	
種目	優勝	第2位		第3位	
M8+	NTT東日本 6分06秒10	東レ滋賀 6分08秒50		トヨタ紡織 6分08秒57	
M4x	日本大学 6分29秒83	仙台大学 6分30秒37		日本体育大学 6分37秒32	
M4+	戸田中央総合病院RC 6分49秒69	新日鐵住金 6分58秒29		仙台大学 7分00秒40	
M4-	関西電力美浜 6分37秒34	仙台大学 6分39秒60		NTT東日本 6分40秒81	
M2+	日本大学 7分41秒53	明治大学 7分49秒19		仙台大学 7分53秒53	
M2-	チヨープロ 7分07秒42	NTT東日本 7分12秒07		東北大学 7分13秒70	
M2x	アイリスオーヤマ 6分38秒68	新日鐵住金 6分45秒80		日本大学 6分55秒85	
M1x	荒川(NTT東日本) 7分03秒95	武田(関西電力美浜) 7分15秒41		大河原(明治安田生命) 7分16秒41	
W8+	立命館大学 7分06秒88	富山国際大学 7分11秒91		北陸電気工業 7分12秒86	
W4x	関西電力小浜 6分49秒16	明治安田生命 6分51秒39		デンソー 6分51秒87	
W2-	立命館大学 7分48秒16	戸田中央総合病院RC 7分53秒27		富山国際大学 8分02秒54	
W2x	トヨタ自動車 7分27秒56	鹿屋体育大学 7分31秒56		明治安田生命 7分37秒34	
W1x	大石(アイリスオーヤマ) 7分56秒74	榎原(トヨタ自動車) 8分00秒13		坂井(日本体育大学) 8分06秒61	

第40回全日本軽量級選手権大会 <埼玉・戸田ポートコース>				2018年5月17日～5月20日	
種目	優勝	第2位		第3位	
LM8+	仙台大学 6分05秒34	明治大学 6分06秒11		法政大学 6分11秒54	
LM4-	東レ滋賀 6分29秒25	NTT東日本 6分34秒59		日本大学 6分35秒13	
LM4x	龍谷大学 6分41秒33	トヨタ自動車 6分45秒21		富山国際大学 6分50秒00	
LM2-	早稲田大学 7分22秒90	東レ滋賀 7分23秒72		日本大学 7分26秒03	
LM2x	トヨタ紡織 7分03秒99	今治造船 7分11秒02		明治安田生命 7分14秒35	
LM1x	大元(アイリスオーヤマ) 7分35秒32	武田(ダイキ) 7分44秒88		安井(トヨタ紡織) 7分49秒17	
LW4x	仙台大学 7分13秒20	日本体育大学 7分21秒63		東京外国語大学 7分22秒69	
LW2x	関西電力小浜 7分45秒12	富山国際大学 7分48秒74		明治安田生命 7分59秒15	
LW1x	福本(トヨタ自動車) 8分11秒16	角谷(立教大学) 8分14秒08		大原(中部電力) 8分18秒48	

2018年度国内大会記録

第68回全日本社会人選手権大会 <宮城・長沼ポートコース>				2018年7月7日～7月8日	
種目	優勝	第2位		第3位	
M8+	NTT東日本 6分11秒88	中部電力 6分12秒29		トヨタ紡織 6分16秒27	
M4x	今治造船 6分39秒73	警視庁	6分42秒60	トヨタ自動車 6分43秒38	
M4-	戸田中央総合病院RC 6分34秒57	東レ滋賀A	6分36秒83	関西電力美浜 6分37秒83	
M2-	東レ滋賀B 6分51秒71	トヨタ紡織D	6分53秒81	トヨタ紡織B 6分54秒15	
M2x	アイリスオーヤマ 6分30秒35	今治造船	6分46秒68	明治安田生命 6分49秒78	
M1x	青松(東レ滋賀D) 7分22秒62	杉嶋(東レ滋賀A)	7分27秒11	石田(東レ滋賀B) 7分28秒10	
M1x0V40	後神(黄門RC) 8分40秒11	渡辺(長崎RC)	8分49秒91	松岡(横浜市ポート協会) 8分50秒44	
M1x0V50	氏家(東京大学淡青会) 8分56秒51	佐藤(新潟RC)	9分08秒61	仲江(巽ロ-イング クラブ) 9分45秒85	
M1x0V60	鴨井(パルテ会B) 9分18秒07	高橋(パルテ会C)	9分23秒88	安達(瀬田漕艇クラブA) 9分24秒33	
W4x	明治安田生命 7分17秒01	デンソー	7分22秒96	中部電力 7分28秒03	
W2x	明治安田生命A 7分24秒03	今治造船	7分31秒38	明治安田生命B 7分31秒67	
W1x0V40	1クルーのため実施せず				
W1x	高橋(日体ボート倶楽部) 8分05秒86	國元(中部電力A)	8分14秒06	木佐貫(陽進堂) 8分20秒06	
M1xB	菅原(埼玉県警察機動隊) 3分41秒29	細田(三菱商事)	4分05秒57		
M4+B	新日鐵住金 3分13秒57	日本生命BC	3分44秒65		

2018年度国内大会記録

第45回全日本大学選手権大会 <埼玉・戸田ポートコース>				2018年9月6日～9月8日	
種目	優勝	第2位		第3位	
M8+	日本大学 5分55秒91	一橋大学 6分00秒70		中央大学 6分01秒04	
M4x	仙台大学 6分21秒39	同志社大学 6分21秒47		龍谷大学 6分23秒86	
M4+	日本大学 6分44秒87	日本体育大学 6分46秒30		仙台大学 6分47秒14	
M4-	明治大学 6分27秒20	立教大学 6分30秒08		仙台大学 6分33秒90	
M2-	一橋大学 7分04秒62	明治大学 7分06秒64		仙台大学 7分10秒67	
M2+	日本大学 7分50秒36	早稲田大学 7分52秒34		明治大学 7分56秒75	
M2x	日本体育大学 6分58秒83	富山国際大学 7分02秒66		法政大学 7分12秒83	
M1x	宮浦(中央大学) 7分37秒86	野口(広島大学) 7分46秒87		木村(日本大学) 7分49秒09	
W4x+	早稲田大学 7分24秒30	明治大学 7分24秒71		仙台大学 7分27秒81	
W4+	立命館大学 7分35秒57	富山国際大学 7分41秒59		日本体育大学 7分46秒19	
W2-	中央大学 8分02秒74	立命館大学 8分07秒36		法政大学 8分08秒48	
W2x	明治大学 7分43秒60	富山国際大学 7分47秒09		立教大学 7分53秒34	
W1x	米川(早稲田大学) 8分04秒92	坂井(日本体育大学) 8分12秒22		大西(龍谷大学) 8分14秒21	

第58回オックスフォード盾レガッタ <埼玉・戸田ポートコース>				2018年9月7日～9月8日	
種目	優勝	第2位		第3位	
M8+	NTT東日本 6分02秒66	明治安田生命 6分03秒76		東レ滋賀 6分06秒07	

2018年度国内大会記録

第73回国民体育大会 夏季大会<福井・久々子湖ポートコース>				2018年9月30日～10月3日	
種目	優勝	第2位		第3位	
成年M4+	福井選抜 3分17秒80	埼玉選抜 3分19秒87	NTT東日本(東京)	3分21秒07	
成年M2x	トヨタ紡織(愛知) 3分17秒39	福井選抜 3分22秒92	埼玉選抜	3分23秒94	
成年M1x	遠山(京都) 3分38秒98	武田(関西電力美浜) 3分39秒64	大元(宮城)	3分39秒92	
成年W4x+	福井選抜 3分36秒31	明治安田生命(東京) 3分38秒80	大分選抜	4分42秒02	
成年W2x	福井選抜 3分49秒85	佐賀選抜 3分52秒88	鹿児島選抜	3分53秒17	
成年W1x	高橋(茨城) 4分04秒49	角谷(石川) 4分07秒79	椎名(山口)	4分08秒41	
少年M4x+	愛媛選抜 3分16秒49	福井選抜 3分16秒93	埼玉選抜	3分24秒62	
少年M2x	富山選抜 3分30分95	福井選抜 3分32秒64	鳥取選抜	3分33秒52	
少年M1x	大竹(千葉) 3分47秒64	一坪(岡山) 3分48秒02	藤井(宮城)	3分50秒58	
少年W4x+	福井選抜 3分40秒26	愛媛選抜 3分43秒93	東京選抜	3分50秒20	
少年W2x	福井選抜 3分56秒33	東京選抜 4分01秒28	埼玉選抜	4分02秒14	
少年W1x	鈴木(山形) 4分11秒32	川村(福井) 4分13秒08	沖田(島根)	4分15秒18	

第59回全日本新人選手権大会 <埼玉・戸田ポートコース>				2018年11月9日～11月11日	
種目	優勝	第2位		第3位	
M8+	明治大学 6分06秒57	中央大学 6分13秒06	仙台大学A	6分15秒90	
M4+	法政大学 7分13秒44	明治大学 7分17秒56	早稲田大学A	7分19秒04	
M2x	富山国際大学A 6分58秒22	日本体育大学B 7分00秒07	仙台大学A	7分00秒33	
M1x	遠山(日本体育大学C) 7分27秒59	田中(早稲田大学) 7分39秒15	兼康(関西電力美浜)	7分42秒22	
W4x+	早稲田大学 7分34秒20	仙台大学 7分35秒51	明治大学	7分36秒43	
W2x	法政大学A 8分00秒41	中部電力 8分08秒17	早稲田大学B	8分08秒80	
W1x	米澤(中央大学B) 8分30秒47	四方(鹿屋体育大学A) 8分31秒19	柿島(金沢大学)	8分40秒27	

2018年度国内大会記録

第16回全日本ジュニア選手権大会 <熊本・斑蛇口湖ボートコース>				2018年4月13日～4月15日
種目	優勝	第2位	第3位	
M1x	島田(瀬田工業高) 7分45秒25	森永(若狭東高) 7分50秒77	青木(成立学園高) 8分02秒48	
W1x	仲澤(若狭東高) 8分43秒57	松田(成立学園高) 8分51秒94	中尾(津高) 9分02秒24	

第66回全日本高等学校選手権競漕大会 <愛知・愛知池ボートコース>					2018年7月30日～8月2日
種目	優勝	第2位	第3位		
M4x+	美方 3分18秒04	越ヶ谷 3分19秒86	浜松北 3分23秒33		
M2x	米子東 3分26秒52	浜松湖南 3分28秒45	今治西 3分31秒21		
M1x	門馬(会津) 3分45秒17	阿部(猿投農林) 3分46秒55	若崎(石川工業高専) 3分48秒33		
W4x+	美方 3分37秒56	浦和第一女子 3分41秒75	石巻 3分42秒55		
W2x	美方 3分54秒12	今治南 3分58秒11	横浜商業 4分00秒17		
W1x	田口(浜松西) 4分19秒90	郡(文京学院大女子) 4分22秒47	沖田(江津工業) 4分24秒53		

第30回全国高校選抜大会 <静岡・天竜ボート場>					2019年3月22日～3月24日
種目	優勝	第2位	第3位		
M4x+	加茂 6分51秒78	関西 6分53秒85	慶應義塾志木 7分05秒57		
M2x	瀬田工業 6分55秒57	小見川 7分05秒35	浜松大平台 7分07秒42		
M1x	奥本(若狭東) 7分36秒45	林(東山) 7分38秒63	鈴木(浜松大平台) 7分42秒90		
W4x+	美方 7分30秒22	小松川 7分38秒66	南稜 7分51秒89		
W2x	大村 8分13秒34	美方 8分14秒90	今治南 8分17秒10		
W1x	仲澤(若狭) 8分17秒24	郡(文京学院大女子) 8分34秒33	中山(天竜) 8分36秒11		

2018年度国内大会記録

第38回全日本中学選手権競漕大会 <岐阜・長良川ポートコース>				2018年7月15日～7月16日	
種目	優勝	第2位		第3位	
M4x+	潮来選抜 3分31秒49	大沢野中 3分39秒32		瀬田中 3分40秒51	
M2x	本荘南中 3分41秒90	城崎中 6分45秒46		瀬田北中 3分48秒23	
M1x	柘植(ぎふジュニアBC) 4分01秒06	長谷川(阿賀町ジュニアBC) 4分01秒61		石原(瀬田北中) 4分05秒97	
W4x+	入野中 3分58秒21	下諏訪中 4分10秒42		潮来選抜 4分10秒70	
W2x	米子漕艇クラブ 4分08秒27	Itako Rowing Academy 4分09秒34		入野中 4分23秒04	
W1x	上野(ぎふジュニアBCA) 4分27秒59	安藤(ぎふジュニアBCB) 4分31秒58		落合(瀬田北中) 4分34秒64	

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成31年3月31日

公益社団法人 日本ボート協会